



堆肥成分等検査報告書

番号 109

平成30年7月6日

(株)若葉 様

一般財団法人畜産環境整備機構
畜産環境技術研究所 所長 (印)



検査材料受領日 : 平成30年6月20日

検査材料の名称 : 土のめぐみ

畜 種 : 豚 採卵鶏 ブロイラー 乳用牛 肉用牛

検査結果を下記のとおり報告いたします。なおこの検査報告書は、当研究所に送付されてきた検査材料について検査したものであって、当該検査材料以外の品質等について証明するものではありません。

検査項目	検査結果		検査方法
水分	33.8	%(現物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
粗灰分	34.9	%(乾物)	同上
pH	8.3		同上
EC	6.6	mS/cm	同上
窒素全量	3.8	%(乾物)	「乾式燃焼法」による。
磷酸全量	8.1	%(乾物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
加里全量	8.5	%(乾物)	同上
石灰全量	14.9	%(乾物)	同上
苦土全量	5.6	%(乾物)	同上
炭素率(C/N比)	9.2		「乾式燃焼法」による。
銅全量	240	mg/kg(現物)	下記*による。
亜鉛全量	2,300	mg/kg(現物)	同上
鉄全量	13,000	mg/kg(乾物)	同上
マンガン全量	1,400	mg/kg(乾物)	同上
発芽率	91	%	下記**による。
酸素消費量	3.2	μg/g/min(現物)	「コンポテスター」を用いた***による。
臭気指数相当値	-	(現物)	「におい識別装置」を用いた***による。
放射性セシウム合計	検出限界以下(30 Bq/kg 未満)		NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ使用による。

銅、亜鉛のコメント中の基準値は肥料取締法における特殊肥料の品質表示基準(現物)です

コメント:

加里、苦土がきわめて高く、石灰がやや高い畜ふん混合堆肥です。この堆肥に含まれる肥料三要素の全量は、現物1トン当たり、窒素25kg、磷酸54kg、加里56kgです。このうち化学肥料相当分の含量(肥効率)を、窒素10%、磷酸80%、加里90%とすると、化学肥料相当分は、現物1トン当たり窒素3kg、磷酸43kg、加里51kg程度となります。多量施用に注意してください。

亜鉛が基準値を超えています。販売する場合、表示義務が生じます。酸素消費量(易分解性有機物含量の目安)は低く問題ありませんが、発芽率の値は少し低くなっています。念のため、施用から作付けまで時間をおくことをお勧めします。

堆肥成分診断



(混合率の高い豚ふん堆肥と比較しました)

* 財団法人日本土壌協会「堆肥等有機物分析法」(2010年版)に準じた方法

** 農林水産技術会議事務局「家畜ふんたい肥の品質評価・利用マニュアル」(2004)

*** 一般財団法人 畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所方式